

WEB会報



参院選勝利に向け連合福島が総決起集会



第26回参議院議員選挙勝利、連合福島総決起集会が5月21日、福島市の福島テルサで開催されました。

今野会長の主催者あいさつにつづき、福島県選挙区候補予定者の小野寺あきこさんの決意表明を受け、連合福島に結集する8つの単産の代表者が、それぞれの組織内候補予定者を紹介し、小野寺あきこさん共々当選に向けて全力をつくすことを誓い合いました。

小野寺あきこ候補予定者決意表明

フリーランスとなって気づいたことは、会社に守られない、何でも自分でやる、そんなフリーランスによって、この社会が成り立っているということです。

ひとりひとりに暮らしがあり、価値観も異なります。多様性を認め合う社会でなければいけないと思います。

ひとりひとりの普通の暮らし、幸せが大切に守られる政治に、みなさまのお力添えを頂きながら、変えていきたいと思っています。

鬼木まこと (自治労)

地方自治体、公立・公的病院、保健所など、公共サービスを担う最前線は、新型コロナウイルス感染拡大により一層厳しい状況になっています。

削減され続けてきた地域の公共サービスを手厚くし、「みんなで支えあう社会」に転換するため、働く者、生活者の声を集め頑張ります。

村田きょうこ (基幹労連)

「ご安全に」。互いの安全を誓い、ものづくりの現場で交わされる言葉です。私は、ものづくり産業の代表として、「産業・企業の発展」を政策のひとつに掲げています。

ものづくりの現場で働く仲間の声を国に届

け、働く者、生活者の笑顔のために頑張ります。

しば慎一 (JP労組連協)

人口減少社会において、私たちが幸せに暮らしていける社会を維持していくには、一人ひとりが社会の重要なメンバーとして尊重され活躍・貢献できる社会構造へと変えていく必要があります。

人気取りのための身を切る改革ではなく、人を大切にし価値を作り出す「生み出す改革」を進めます。

石橋みちひろ (情報労連)

全国の仲間たちとともに、恒久平和の下で、誰もが安心して働き、暮らしていける「つながってささえあう社会」の実現をめざします！

お知らせ

福島2区総支部選对本部結成総会

とき 5月22日(日) 18:00

ところ 郡山市労働福祉会館

立憲民主党郡山市民集会

とき 6月5日(日) 13:00

ところ 郡山市労働福祉会館